

商店街活性化事業計画の概要

地域

新潟県南魚沼郡湯沢町

認定日

平成24年4月13日

事業名:「ぶらぶら歩きができる街」

～魚沼地域、湯沢町らしい人・モノ・情報の交流～

事業者名:湯沢温泉通り事業協同組合

事業実施期間 平成24年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

「地域の生活者が利用しやすい、誰もが集まれる温泉街を創造する」ことを最大の目標として、『ぶらぶら歩きができる街』～魚沼地域、湯沢町らしい人・モノ・情報の交流～をテーマに下記の三つの事業を行う。

- ①湯沢温泉通り及び店舗の個性化、魅力向上のための情報発信と勉強会の実施。
- ②通りに人を増やして活気を取り戻すための仕掛け作りの実施。
- ③湯沢温泉通りをヒトとモノの「交流の拠点」を形成するため空き店舗を活用した事業の実施。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

・アンケート調査により、温泉通りの店舗・施設に対する意見として①駐車場が利用しづらい②街に活気が無い③店の内容がわかりづらいなどが上位を占めた。また、温泉通りに欲しい店、施設としては、カフェ、産直市場があげられた。地域の課題、気になることという項目に対しては高齢化やコミュニティのつながりを心配する意見が相次いだ。

◆実施計画の主な内容

・利用客の利便性向上、店舗の売上・集客増のための情報発信

組合のホームページの開設、個店のPR方法の研修、温泉通り魅力発見MAP“うちんしょのおすすめ”の発行、「木製和風の情報掲示板」の設置等、様々な媒体を使い情報発信の強化を行う。

・通りに人を増やして活気を取り戻す

地域ならではの雪を活用した集客イベントや地産地消イベントの商品・メニュー開発を実施する。また街路灯の改修を行い、歩行者の安全性を確保する。

・空き店舗の活用、「交流の拠点」の設置

多世代交流やコミュニティのつながりを促進するために、空き店舗を活用した組合直営の小規模カフェ、休憩スペースの設置等により湯沢温泉通りをヒトとモノ、情報の「交流の拠点」として整備する。さらに地元(魚沼地域)の物産販売をすることにより、モノの交流を実現する。

■商店街活性化事業計画の目標

①通行量の増加目標は平成23年11月調査の中心地点の数値から三カ年事業終了後の平成26年11月に9%アップを図る。

②会員店舗の業況調査により事業前後の売上伸び率6%アップを図る。

【商店街の様子】



【ハチロク浴衣祭りの様子】



【イベントの様子】

